

これからの活動予定

イベント名称	開催日時	場所
ホタルを守ろうプロジェクト	偶数月第1日曜日 9:00～11:00	目田川親水公園
目田川モデル河川づくり作業	毎月第3土曜日 9:00～11:00	目田川一帯
川づくりフォーラム	2026年2月7日(土) 14:00～16:00	守山市民ホール
水辺の楽校(春編)	2026年2月21日(土)	目田川一帯
水辺の探検会	2026年3月1日(日)	守山市内の河川
地域のクリーン作戦	2026年3月7日(土) 10:00～11:30	検討中



今月の詩

柿の花 音なく肩に舞いおりて 赤き実もぎ取る 夕映えの畑 IK
 長寿寺 長き参道紅葉し 菩薩に手合わせ 出でて見返る IK

しじみのひとりごと

発表や質問に真剣に向き合う子どもたちの姿に、大きな成長と希望を感じました。そのまなざしに励まされ、私自身も共に学び、成長していきたいと思います。3年前、「よかったらうちの活動に参加せえへんか？ おもしろいで。」と声をかけてもらったことがきっかけで、豊穰の郷に出会いました。12年前に守山へ引っ越してきた私にとって、この活動は地域になじみ、人とのつながりを感じる大切な居場所となりました。地域の方々、そして共に活動する仲間の皆さんに、心から感謝しています。皆さんのおかげで、今があります。

2025/11/25 発行 1,500部発行 Vol.106

豊穰の郷だより

人と環境のネットワーク



世界の舞台で「びわ湖の子どもたち」が発表！

— 目田レンジャー、世界湖沼会議ユースセッションに登壇 —

7月21日、オーストラリア・ブリスベンで開催された「世界湖沼会議（WLC20）」のユースセッションに、目田レンジャーが“ユース代表のメッセージ”発表者として招待されました。

小学生を中心とするグループながら、これまでの経験と実践が高く評価され、英語で堂々と自分たちの活動を発表しました。

ふるさと納税を活用した寄付金の支援により、多くの子どもたちがこの国際会議に参加でき、参加者からも「このような先進的な取り組みができる守山市はすばらしい」と感心の声が寄せられました。

子どもたちは、世界の湖が直面する深刻な課題を知り、水の大切さをあらためて実感しました。

「水を汚さない工夫をしたい」「もっと英語を勉強したい」といった声も聞かれ、今後の学びへの意欲にもつながっています。

ブリスベン宣言を読み、私たちの活動は小さくても、正しい道を歩んでいると確信できました。

身近な水辺を守りたいという思いを、次の世代へ伝える力強い一歩となりました。

発行 認定NPO法人 びわこ豊穰の郷

TEL/FAX 077-583-8686 (有線 583-8686) / 077-558-5007

理事長 金崎 いよ子

E-MAIL houjyounosato@lake-biwa.net

住所 〒524-0041 守山市勝部5丁目10-25

URL <https://lake-biwa.net/akanoi/>

びわ湖クリーンキャンペーン実施

9月7日（日）赤野井湾において、湖底ゴミ除去、湖岸のごみ拾い、特定外来植物除去作業を行いました。今回は、年1回実施している赤野井湾小津袋クリーン大作戦を、守山、野洲地区の労福協（労働者福祉協議会）と共同開催とし実施致しました。多くの企業や行政、市民、会員等が参加し、若い世代の方々が多く活気に満ちていました。豊穰の郷はオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの除去を担当しました。

湖辺の石組みに蔓延の状態では放置しておくとも湖上まで広がり続けます。マンパワーで刈り取るしか方法がありません。足場も悪い中、大変な作業となりました。今回、企業の若者達が除去にあたっ下さり心強く感じました。湖底ゴミ除去作業では、胴長を着て湖に沈んでいるゴミを回収し、水で洗って分別しました。湖底、湖岸ともにたくさんのゴミがありました。暑い中、総勢約80名の参加がありました。ご協力ありがとうございました。

古民家を舞台に夏の思い出！ ～夏休みキャンプ開催～

8月23日（土）と24日（日）、夏休みキャンプを開催しました。

今回は栗東市荒張の古民家をお借りし、新たな活動フィールドの可能性を探るキャンプとなりました。自然環境がやや単調な場所だったため試行錯誤もありましたが、内容は盛りだくさんで、とても充実した2日間になりました。

1日目は竹を切って器やコースターを作り、それを使ってカレーをいただきました。2日目は九品の滝で川遊びを楽しみ、拾った石に絵を描くストーンペイントにも挑戦しました。夜は花火にビンゴ大会、ふわふわかき氷など、インターンシップの学生たちが工夫を凝らして運営をサポートしてくれました。本当に暑い2日間でしたが、子どもたちは一回りたくましくなって帰っていきました。お借りした古民家「あるきだす」はとても素敵な場所で、今後もさまざまな企画が生まれそうです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

世界で頑張ったよ！目田レンジャーが報告発表

11月2日（土）、もりやまエコフェスタ2025がエコパークで開催され、目田レンジャーたちが、今年7月にプリズベンで開かれた世界湖沼会議での発表報告を行いました。英語は難しかったけれど、世界の方々が温かく受け入れてくださり、自己紹介チラシをたくさん配ることができたことや、さまざまな国の環境に興味を湧いたことなどを伝えました。

応援に来てくださった方からは、「声に張りが出てきたね」とお褒めの言葉をいただき、世界の舞台で大きな経験をしたレンジャーたちの成長を感じることができました。多くの方々の支えをいただき実現したこの経験が、今後のレンジャーたちの活動のヒントにつながることを期待しています。

「守山市豊かな市民活動のまち応援事業」継続認定を取得！

守山市へのふるさと納税を通じて市民活動への応援が受けられる「守山市豊かな市民活動のまち応援事業」で、当法人は2023年度から3年間、認定団体として補助金の交付を受けてきました。交付期限が切れる来年度からの事業計画や予算案を見直し、新たに登録申請を行いました。その結果、審査員の皆さんから評価をいただき、無事、今後3年間の継続認定を受けることができました。中には“基盤強化に向けた具体的な計画がやや不十分だ”などの厳しいご意見もあり、身の引き締まる思いでした。これからも皆さまからの応援に感謝し、水環境の保全と次世代リーダーの育成に力を尽くしていきます。

びわ湖まるっと親子セミナー開催！

10月25日（土）びわ湖まるっと親子セミナーを開催しました。このセミナーは、親子で楽しく学びながら、水や環境への理解を深めることを目的に、国際湖沼環境委員会、近畿労働金庫主催、当法人共催で行っています。最初に、水の循環や環境保全について専門家や団体の方々からわかりやすくお話しいただき、「水を汚す原因を調べてみたい」「身近な水の大切さに気づいた」といった感想が寄せられました。

また、オーストラリアでの活動報告では、「小さな行動を続けることが周りを変える力になる」とのメッセージに共感の声が多く、目田レンジャーの堂々とした発表に感動したとの声も聞かれました。その後は目田川へ移動し、ごみ拾いをしながら環境について学んだ後、「竹パンづくり」を楽しみました。この一日を通して、子どもたちは水や自然を大切に思う心を育み、地域や世界とのつながりを感じる貴重な機会となったと思います。

守山の水辺百選めぐり

10月13日（月祝）、「守山の水辺百選めぐり」を開催し、県外、市内外から32名の参加がありました。守山市ボランティア観光ガイドの案内で、「土橋」「三津川河川公園」「螢橋」など7か所をめぐり、守山のまちに息づく水と人とのつながりを感じながら歩きました。途中「うの家」で昼食休憩をとり、参加者同士の交流も深まりました。参加者からは「市街地にホテルが飛ぶと聞いて驚いた」「普段は車で通るだけの道歩いて新鮮だった」などの声が寄せられ、守山の魅力を再発見する一日となりました。解散後には希望者が集まり、びわこ豊穰の郷の活動紹介を交えた交流会も行い、次の活動へとつながる貴重な時間になりました。

近畿子どもの水辺交流会

11月9日（日）、京都府立京都学・歴彩館で開催された「近畿『子どもの水辺』交流会in京都2025」に参加しました。小学2年生から中学1年生までの7名の目田レンジャーが登壇し、「ホテルを守ろうプロジェクト」の地域での水辺保全活動や、世界湖沼会議で海外の方々と交流した経験を発表しました。英語の発表や海外の研究者とのやりとりなど、貴重な体験を堂々と伝える姿に、会場から大きな拍手をいただきました。

発表後には「海外で何が印象に残った？」「どんな外来種がいるの？」「国際会議で英語を話してすごい！」など多くの質問や感想が寄せられ、大きなお兄さんお姉さんに圧倒されながらも、子どもたちは一生懸命答えていました。雨のため予定を変更しながらも、水質調査や水槽づくりなどのプログラムに生き活きと取り組み、午後には近畿14団体が活動成果を発表し、交流を深めた心温まる一日となりました。

訃報

幼稚園の頃から目田川モデル河川の活動に参加し、近年は目田レンジャーのリーダーとして活躍していた河村優さんが、今年7月、海水浴中の事故により亡くなりました。小学生ながら、COOPできるコト助成のプレゼン発表を行い、見事採択に導いてくれたこともありました。優君のまっすぐな姿と行動力は、私たちにとって大きな希望でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。